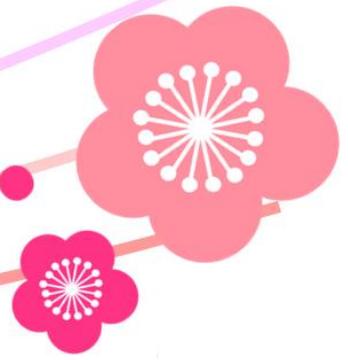
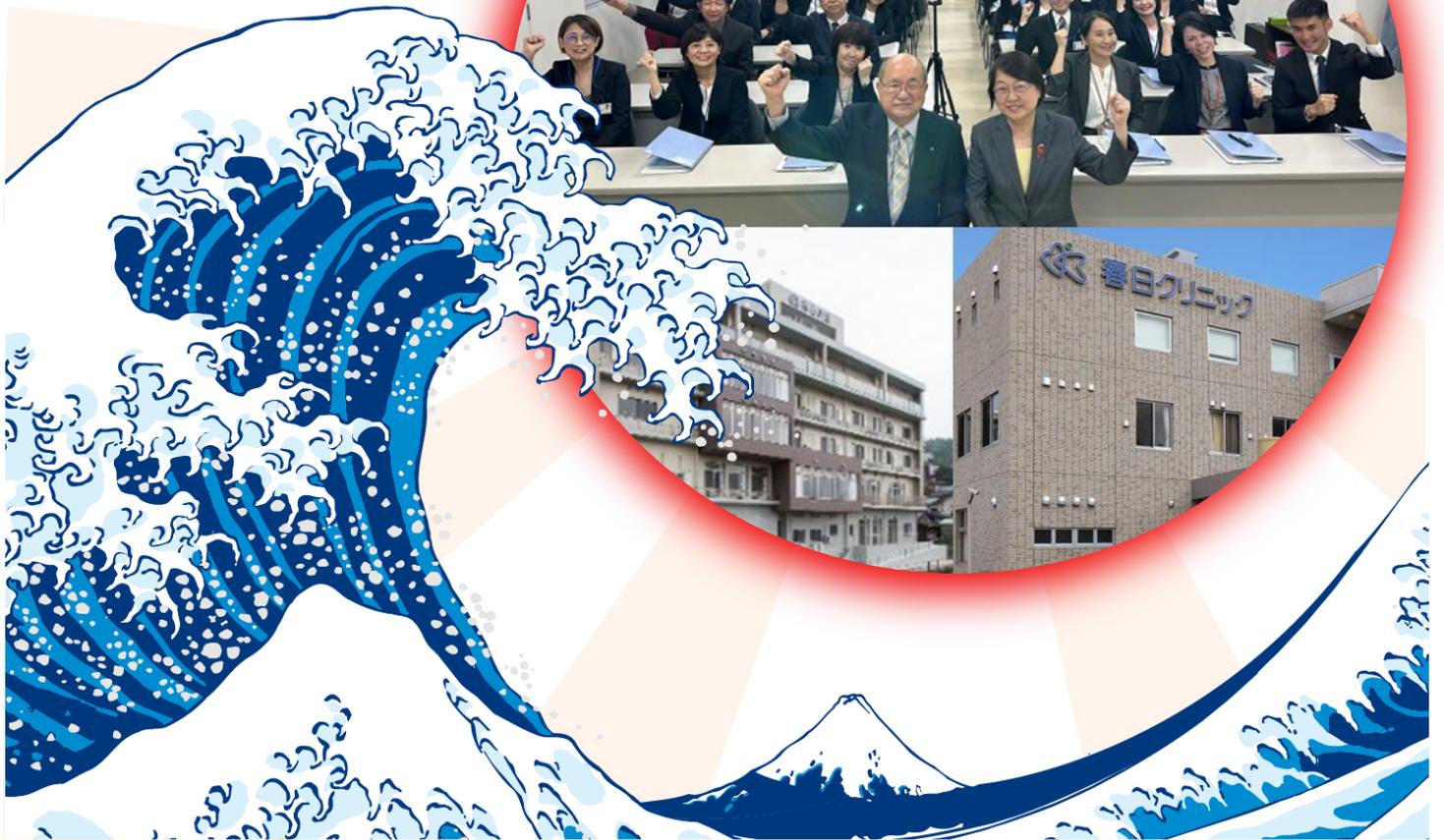


はるかぜの ネットワーク



謹賀
新年

《年賀号》



皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和7年 元旦 

(写真掲載につきましては、ご本人・ご家族のご了承を得ています)



新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

今年はへび年。年がばれてしまいますが、私もへび年で6回目の年男になります。もうそんな年になったのかと感慨深いものがあります。同級生の大半が一線を退いており、うらやましい気もしますが、まだやりたいこと、やれることがあることを幸せに思います。

今年も無理せず楽しみながら仕事をしていく予定です。これまで同様、応援のほどお願いいたします。

さて 2024 年は世界各国で自然災害のほか戦争や政情不安がつづき日本にも影響が出ないか心配です。何かあった時、迅速かつ適切に対応していくだけの力が今の日本にあるかは疑わしく、先行きが不安になります。平和で安定した国民生活が難しくなるかもしれません。国民一人ひとりが自分のこととして受け止め、過度に国や行政に依存することなく対策を講じていくことが求められているように思います。大切なことは“孤立化”しないことです。周りの人に自分の存在をしっかりと知ってもらい、地域とつながり、頼れる仲間を作ることです。人とのつながりを築くために自分ができることを自分ですることはもちろんですが、周りの人から支援の手が差し伸べられた時には快く受け入れる素直な心を持つことが必要です。上手に人からの支援を受ける力、いわば「受援力」を養っておくことが極めて重要になります。

近所の人達や民生委員が何度も訪問し、なんとか支援につなげようと試みても暴言を吐いて関係者を疲弊させている例があります。これでは本人も関わる周囲の人誰も幸せにしません。どこまでも人には頼らないと意地を張るのではなく、人に頼るときがきたら大いに頼ればいいのです。そして人は何かをしてもらったら、きちんと感謝を伝えることです。介護を受ける側になった時、情けない・申し訳ないと考える必要はありません。感謝を示して笑顔を見せれば、支援する側の人には勇気づけられ人を支える仕事の喜びを実感できます。支えられる側の一言が支える側の若い世代を育てている一面もあるのです。

体が不自由になっても人との関わりの中でできることはまだあります。少々の不調があってもなるべく機嫌よく過ごすというだけで周囲にいる人達の気持ちは違うものです。

何度も言いますが、人から援助を受けたら感謝の言葉を惜しまずに伝えましょう。そうすれば、次に何かあった時にも良い関係を保つことができます。そうして“柔らかく”年をとっていくことが人生 100 年時代に身に付けておきたい、生きる知恵なのです。

2040 年に向けてみんなで協力・助け合いながら安心して住める地域づくりを目指しましょう。春日クリニックグループでも総力をあげて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

理事長 清田 武俊



※「自分らしく生きて、逝く」(幻冬舎)より一部引用



年頭の所感

あけましておめでとうございます。

今年は1月12日、13日に市民会館シアーズホーム夢ホールで日本性差医学医療学会学術集会が開催されます。副会長を拝命してこの1年間は準備に奔走してまいりましたが、おかげさまで全国から多数の著名な先生方をお呼びして開催できることになりました。多くの方々のご支援に心より感謝申し上げます。

性差医学・医療学会とは、男女で大きく異なる疾患の病態を探り検査、診断、治療に役立つ学問です。医師、薬剤師、看護師、教育者、ジェンダー学者など、様々な分野の専門家が集う珍しい学会で、世界的にも急に注目を浴びてきている分野でもあります。

男性と女性では、薬の効き方、副作用の出方、場合によっては必要量すら異なることはよくあります。同じ疾患や治療でも、双方の違いや差を分析した上で治療・検査・投薬を行ったほうが、男性にも女性にもより安全で効果的です。

最近よく耳にする“人生100年時代”という言葉が私はとても気になります。100歳越えの人口は年々増えてはいますが、その9割が女性。100歳ともなれば、医療や介護が必要になる方がほとんどです。平均寿命からすると、女性は男性より6年長生きで、男性より3年長く介護を受けます。少子高齢社会、医療、介護問題は女性により大きな問題であると言わざるを得ません。

今後多くの女性が晩年は一人暮らしになることが予想されます。その対策として一緒に学んでいるのが“おりひめの会”です。老化の始まる更年期にこれから何を注意すべきかを考え、一人ひとりの特性に応じて診察を行っています。

昨年6月から医療保険では生活習慣病管理のため新たな仕組みが導入されました。自らも医師とともに健康管理のための検査計画を立てて、病気予防に積極的にかかわり、重症化しないための健康チェックを行いながら、人生100歳を目指すことが目的です。春日クリニック外来では医師、看護師、検査技師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士など、総勢30名で、皆さんとともに元気100歳を追求いたします。

本年も春日クリニック一同をよろしく願いいたします。

院長 清田 眞由美



あけましておめでとうございます。

2025 年は様々な分野で大きな変化が予想されている年です。「変化」と聞いて、みなさんはどんなイメージがありますか？今まで当たり前だと思っていたことが変わっていくこと、自分も変化を迫られるとき、少し抵抗や不安が出てくることもあるかもしれません。でも、そんな時は大チャンス！今まで自分の中でなんとなくやり過ごしてきたこと、見て見ぬふりをしてきたことが目の前に現れ、自分で再選択していくことができるとても大切なタイミングです。

「大変」とは大きく変わると書きます。大きく変わることはたくさんのエネルギーが必要です。でも、せっかくエネルギーを使うのであれば、自分が「最高！」と思う変化を起こしていくことだってできます。

2025 年春、健やかに幸せに、どんな変化の中にあっても、自分で自分を「健幸」にしていくサポートができるよう、新しい部門を立ち上げます。これまでの外来診療とは少し違うスタイルでみなさんと「健幸」を共有していくことにとってもワクワクしています。なにがあってもなくても、一人ひとりが「健幸」に輝き、笑顔あふれる毎日を過ごせるよう、いろいろなプログラムを準備していますので、どうぞお楽しみに♪

元氣いっぱい楽しんでいきましょう。今年もよろしく申し上げます。

医師 上野 真理子



あけましておめでとうございます。

2024 年は皆さまにとってどんな一年だったでしょうか。

我が家は長男に続き二男も家を出て、三男と夫の三人暮らしになりました。子ども達の成長に伴い家族の在り様も変わり、80歳を超えた親の老いに向き合い、自らの今後の生き方についても考える年となりました。自分の在り方が未来を決める、人は生きたようにしか死ねないのだと強く感じるようになりました。

2025 年は団塊の世代が後期高齢者になる年です。そして人口減少と少子高齢化の進行により様々な社会問題が顕著に表面化し多死社会を迎える2040年問題も待たなしの状況となってきました。しかしどんなに困難な時代になっても、家族がいてもいなくても、誰もが望む場所で、望む形で、最期を迎えられる社会であって欲しいと思います。そんな社会を作るために、私たちは考え、準備し、行動しなければなりません。

『自分たちの未来は自分たちでつくる』のです。私たちはそのためにそれぞれの専門分野のスタッフと共に一つのチームとなり、よりよい医療と介護を目指して知恵を出し合い取り組んでいます。その人の人生そのものに寄り添うために病気に限らず生活全般の中で生じる不安や困り事に対して医療と介護が一体となりご家族と共に皆で考え、解決していく努力を今後も続けてまいります。

今年も春日クリニックの仲間とともに頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医師 小出 香子



新年あけましておめでとうございます。

4月から春日クリニックで働かせていただき早いもので8カ月が過ぎました。2024年を振り返ってみると、我が家はお陰様で大きなけがや病気をすることもなく楽しく過ごせた1年でした。一方で、身近な家族ではずっとお世話になっていた叔父との別れがあったり、祖母が骨折をきっかけに介護度があがったりと患者側の家族として介護や看取りを考えさせられる1年でした。元気な時は後回しにしたり気づかないことも多いですが、実際当事者となり見えてくるものもあり、手を貸してあげたくても自分がしてあげられることの限界があったりともどかしい思いもありましたが、叔父たちのおかげで自分も含め家族のこれからの未来と一緒に考えるきっかけができたかなと思っています。そして、中々素直になれないこともありますが後悔なく笑顔で過ごせるよう、今年は家族と会話する時間も沢山持ちたいと思います。

私個人としては、去年の今頃は4月からの新しい生活に向けて期待と不安が入り混じる時期でしたが、1年経った今新しい一步を踏み出して本当に良かったです。年々歳を重ねる毎に新しいことへのチャレンジには勇気がいりますが、一步踏み出せば期待以上の経験が待っていたり素敵な出会いがあることを身をもって体感できた2024年でしたので、今年もまた色々なことにチャレンジしていきたいです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

医師 北野 さやか



一年の計。人生の計。

私は生まれた時、死にかけていた。両親の話では、1週間程病院にいたものの担当医からもう助からないと言われたらしい。それならば家で死なせてあげようと自宅に連れて帰ったそうだ。70年近く前の真冬のことである。冬は今よりずっと寒かったろう。父は警察官で、自宅は警察の官舎である。当時のそれは隙間風が吹き抜ける、時代劇に出てくる長屋のようなもので、庶民の住む家は、それが当たり前であった。両親とも20代前半で、兄もいたので、生活は楽ではなかったはずだ。エアコンなど有るはずもなく、石油ストーブさえなかったようだ。連れて帰った私を風呂に入れ、マッサージし、産着を着せて暖かくしていたところ、オッパイを飲むようになり、グングンと元気になったそうである。あの医者言うことを両親が真に受けていたら、現在67歳の私の人生はたった2週間で終わっていた。本来ならとっくの昔にあの世に行っていた命だ。この歳まで生かしてもらえたことに感謝しなければならない。

人はどう生まれるかを選ぶことはできない。と同時にどう死ぬかも選べない。老や死は必ず訪れる。件の両親も兄もすでにあの世に旅立った。次は私の番である。長寿の時代である。どう生きるかを考えるのは大事なことだが、今の時代、どう死ぬかを考えることも大切になっている、ように思う。

また新しい年がやって来た。

あけましておめでとうございます。

医師 城野 憲二





新年あけましておめでとうございます。
今年「巳年」。外来スタッフとともに、皮を脱ぎ捨て
ノビノビといろんなことに挑戦していきます。
パワーアップした外来にご期待ください。

外来師長（兼務） 森



外来



看護師 山下
笑顔に巳（満）ちる
1年になりますように



看護師 代々
今年も元気に
頑張ります



看護師 原口
一日一日を大切に
過ごしていきます



今年の
ラッキーガールは
だれかな？



看護師 山本
毎日楽しく笑顔で
スキルアップして
頑張ります



看護師 中西
ヘビー級のやる気で
仕事に育児、頑張ります



看護師 黒崎
元気な「ヘビ年ベビー」
を産みます



看護師 柏田
安全を第一に
頑張ります

診療部

安心してご自宅での生活が継続できるよう、在宅支援担当として入退院支援に関わって参ります。いつでもお声掛けください。
 地域連携室長（兼務） 伊原



臨床検査技師主任 松永
 一皮むけた進化の年に



臨床検査技師 松井
 検査のスペシャリストを目指して頑張ります



臨床検査技師 永木
 介護と仕事の両立今年はできるかな



理学療法士 小川
 何事にもしなやかに
 対応します



言語聴覚士 宮崎
 明るく元気に
 頑張ります

訪問看護へ
 行ってきます♪



外来から訪問看護・訪問リハへ



管理栄養士 石井
 食事相談があれば
 いつでもお声掛け下さい



医療秘書 原
 脱皮して以って
 大蛇と成る



⑧ はるかせ訪問看護ステーション



訪問看護所長 森
明けましておめでとうございます。
今年も看護・リハビリともに一丸と
なって皆さんの在宅生活をサポ
ートしていきます。エネルギッシュに
飛び回ります



理学療法士長 宮崎
リハビリで
あなたの健康、
守ります



看護師主任 有江
今年も笑顔で元気と安心を
お届け出来るよう頑張ります



看護師 境
いつでもどこでも心を込めて
継続は力なり



看護師 田中
今年も笑顔を
お届けします



看護師 永田
寄り添い・支える
訪問ナースで頑張ります



看護師 村上
より一層様々な事に粘り強く
取り組みます



看護師 松本
安心できるヘビー級の
看護をお届けします



理学療法士 池田
健康で明るく過ごせるよう
がんばります



理学療法士 福永
毎日に感謝
笑って過ごそう



事務 西村
明るく楽しく
心身ともに健康で

訪問看護から外来へ



外来へ
行ってきます♪



あけまして

おめでとうございます

当意即妙



主任
江本

自進繫心



主任
南里

一念突起



濱田

一念通天



廣田

桜梅桃季



船元

2025年
これが私の
四字熟語!



込められた
意味がわかりますか?

善因善果



堤

心機一転



沼野

温故知新



柴尾

薬剤師・甲斐



慌てず、冷静に
日々精進していきます！
今年も宜しく
お願いいたします。

泰然自若



教育研修部長 平山



医事調剤課

2025年は昭和でいえば丁度100年。今年は大阪万博開催の年となります。55年前、「人類の進歩と調和」をテーマに50年後の未来社会を夢見て展示されたもののうち、実現定着した動く歩道やテレビ電話は今や見慣れた光景。人間洗濯機の技術は、現在介護の現場で応用されています。当時の人が未来社会を夢見たように、私たちはこれからの50年後に希望の未来をイメージできるでしょうか。大阪万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、ひとりひとりが自分の望む生き方を考える、個人の可能性を最大限発揮できるようにと意味が込められているのだそうです。労働力の不足や社会保障費の増大など社会の課題が自分の事として正面から向き合う大事な一年のスタートです。今年も何卒宜しくお願いいたします。

新春のお慶びを
申し上げます



はるかぜ居宅介護支援事業所

新年あけまして
おめでとうございます。

『巳』という字は、「産まれてくる」
「将来・未来がある」という意味があ
るそうです。皮を脱ぎ新たな姿に変わ
れるよう、チーム一丸となり、日々努
力してまいりたいと思います。

居宅所長・
主任介護支援専門員
★ 中嶋 嘉代 ★



巳年は新しいことが始ま
る年です。
気持ちを新たに頑張って
まいります。

主任介護支援専門員
★ 山田 祐子 ★



仕事も体重も脱皮して
前向きに努力して
取り組んでまいります。

介護支援専門員
★ 吉田 幸代 ★



はるかぜ通所リハビリテーション

明けましておめでとうございます。今年もスタッフ全員力を合わせて、
皆様が元気に楽しく過ごせるよう、取り組んでいきたいと思ひます。
巳（実）を結ぶ充実した年となりますように。

士長 西 英夫（理学療法士）



自分を磨く時間を
作ります。
介護福祉士
安部由佳

油断大敵。ゆとりを
もって行動します。
作業療法士 竹丸聡子

エネルギー全開で
突き進みます。
介護福祉士 黒田 加奈





デイサービスセンターはるかぜ



主任 脇田 梢
(介護福祉士)

初心を忘れずに頑張る



竹下 あすか
(作業療法士)

何事も楽しく過ごす



佐藤 健二
(言語聴覚士)

明るく元気に頑張る



志賀 千恵子
(介護福祉士)

元気と癒し届けます



所長 岡本 美樹 (理学療法士)



高塚 梨沙
(理学療法士)

巳のりの1年にする



一村 昌樹
(介護福祉士)

健康第一で頑張る

あけましておめでとうございます。皆様、年末年始はどのように過ごされたでしょうか？笑顔で終わり、笑顔で始まったでしょうか？お正月の特番でお笑い番組が増えたり、正月遊びに福笑いがあったりするのは、笑いや笑顔が**幸せを招く**と言われているからです。しかし、待っているだけでは幸せは来てくれません。デイサービスセンターはるかぜでは皆が幸せに笑顔で過ごせる一年となるために、一人一人目標を立て、そこに向かって努力を惜しまず、日々精進して参ります。今年も元気に、楽しく皆さんと過ごしていきたいと思ひます！よろしくお願ひいたします。



林 えり
(介護従事者)

笑顔と健康の一年に



水上 淳子
(保健師)

笑顔で健康に過ごす



嶋田 望慶
(介護福祉士)

己に克つ



介護主任 井上利明

明けましておめでとうございます。
今年も利用者さん・ご家族の笑顔、
又、スタッフの笑顔が絶えない様、
看多機を盛り上げていくぞ。

介護福祉士 澤田誠之介

感謝の気持ちを忘れずに
利用者さんに寄り添って
いきます。

看護師 永田登美子

明るく楽しい雰囲気づく
りに努めていきます。

介護福祉士 緒方里美

ワクワクの感動を
一緒に楽しみましょう。

介護福祉士 浅山千亜紀

明るく笑顔で頼られる様
に頑張ります。

介護福祉士 宇野かおり

フットワーク軽くいろん
なことにチャレンジ
していきます。

介護従事者 田嶋浩二

笑顔を絶やさず
頑張ります。

介護福祉士 松田結子

一日一日を大切に
楽しめるよう頑張ります。

所長 伊原由紀

新年明けましておめでとうございます。
 今年は「巳年」、**“新しい時代が始まる起点となる年”**です。
 これまでの様々な取り組みが**「実」**を結ぶ年となるよう、スタッフ一丸
 となって、夢と希望あふれる看多機を目指し精進してまいります。
 どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。

看護師 池井亜矢

どんな時でもご利用者さんに寄り添い
 笑顔と安心をお届けします。

介護福祉士 西村祐貴

10月から入職しました西村です。
 早く仕事に慣れ、皆様に安心して
 過ごしていただける様、頑張ります。

看護師 小山綾子

安心して“ほっ”とできる場所と時間、
 また行きたいと思われる看多機を
 目指して頑張ります。

言語聴覚士 境治美

利用者さん・ご家族に寄り添い、
 おいしいお食事、楽しいおしゃべりが
 提供できるよう取り組んでいきます。

介護福祉士 津崎可菜子

利用者の皆さんに穏やかに楽しく
 過ごしていただけるよう、自分自身も
 穏やかに、そして笑顔で楽しく
 頑張るぞ。

介護福祉士 吉田達也

仕事もプライベートも有言実行。
 充実した年にしたいと思ひます。

介護福祉士 永田昌代

利用者さんに寄り添い笑顔で
 頑張ります。



謹賀新年2025



巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年、努力や準備が実を結び始める時期とされています。ということで、介護福祉ステーションスタッフの『新年にチャレンジしたいこと』をお伝えします。



介護福祉士 所長 白石智美

昨年は在宅介護指導士の資格を取りました。
今年はケアマネジャー更新研修からスタートしています。
全員で上を目指していきます。



介護福祉士 主任 杉本澄代

体力アップにつながる YOGA に挑戦し、
心も柔軟に力強い1年にしていきたい。



介護福祉士 兼田広美

自分の実力を試す時、
資格取得に挑戦いたします。



介護福祉士 井上邦代

初心を思い返して真摯に仕事に向き合います。
仕事以外では趣味向上と充実に励みます。



訪問介護員 古川幸恵

資格取得と体力向上のために毎日のウォーキングを目標。
笑顔・感謝を忘れず成長する年にします。



介護福祉士 永見美香

大河ドラマにどっぷりハマっていました。平安の時代に夢を
馳せながら、源氏物語の現代語訳をゆっくり読みたいと思っています。



訪問介護員 山中理恵子

毎日続けている資格勉強を
マイペースでやっていきたいです。



サービス付き高齢者向け住宅杏心の丘

あけまして
おめでとう
ございます

つながる つないでいく



年男です

杏心の丘 館長
理学療法士
井手 浩信



今年は5回目の年男。
(還暦です笑) 初心にか
えり新たなチャレンジを
していきます。



年女です

介護福祉士 榎永 美里
脱皮して成長していく
巳の様に、色々なことに
チャレンジし、成長し続
けます。

あけましておめでとうございます。
皆様に置かれましては、健やかに
新しい年をお迎えのことと存じます。昨年はおかげ
を持ちまして、杏心の丘も開設から10年を迎える
ことができました。今年は心新たに、皆様が安心して
快適にお過ごしいただけるよう、スタッフ一同、
心を込めてサポートさせていただきます。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

生活支援員 深水 真弓
年男・年女の福に肖っ
て、努力を怠らず、多く
の事を巳(身)につけて
成長します。



気になる 気にする 気にしていく



経営管理部



経営管理部は表立って活躍する部署ではありませんが、春日クリニックグループの
各事業所が安心して日々の仕事に取り組めるよう、陰ながらさまざまな業務を担って
います。いわば縁の下の力持ち。あらゆる業務をこなせるように、日々筋トレ(?)を
欠かさず、今年も安定して法人を支えられるよう4名で頑張っていきます。

多岐にわたる管理部
業務。それぞれの得意
分野を活かし、お互い
に補填しあいながら、
今年もさらにスキルに
磨きをかけていきたい
と思います。

管理部長 清田 恵子

「千里の道も一歩か
ら」一つずつ積み重ね
て貢献していけたら
と思います。今年も管
理部を明るく、自身も
笑顔で頑張ります。

関 留理子

仕事も子育ても
楽しみつつ、何事も
チャレンジする気持
ちをもって前向きに
取り組んでいきたい
と思います。

野村 遥

新しいことにチャ
レンジする年に！
スキルアップして皆
様のお役に立てるよ
う笑顔で楽しく頑張
ります。

生田 美紀





春風狂句



年賀号

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。
 今年は己年。「己」は再生と変化を意味するそうです。昨年は世界各地で大きな変化がありました。今年は再生の年になりますよう願うばかりです。

さて、「蛇」という漢字を使った単語に何があるだと考えていましたら「蛇口」という言葉が浮かびました。蛇口をひねると水があふれてくるように、今年も皆さんの頭の蛇口をひねり、面白く楽しい狂句をどんどん生み出していただければと思います。初参加の方も大歓迎、たくさんの方の投稿をお待ちしています。
 本年も、どうぞよろしくお願い致します。

撰者 国府 良具

お知らせ

- ◎ 1月3日までは年末年始の休診です。診療は1月4日（土）からです。
- ◎ 1月12～13日 市民会館シアーズ夢ホールにて日本性差医学医療学会学術集会が開催されます。清田院長は学会副会長を務めます。



職員の名刺代わりにお渡しできればと毎年作成している年賀号。お楽しみいただけたでしょうか。今年も春日クリニックグループと皆さまをつなぐ橋渡しとして全職員でお届けしていきます。 春風 静香

医療法人社団 清心会
 〒860-0047 熊本市西区春日3丁目25番1号
 URL : <https://seisinkai.or.jp>

1階	春日クリニック (2階 薬局・診察室) TEL096(351)7151/FAX096(351)7152 診療科目:内科・小児科・リハビリテーション科・麻酔科(清田 武俊) その他: 女性専用外来(水曜日午後 予約制)、各種健康診断、 相談業務(更年期・禁煙・認知症・肥満・在宅ホスピス) 健康増進事業(産業医・生活習慣病講話・出張指導)
	春日クリニック訪問リハビリテーション はるかぜ通所リハビリテーション TEL 096(351)3551 /FAX 096(351)3559
2階	はるかぜ訪問看護ステーション TEL 096(351)6228 /FAX 096(351)6151 はるかぜ居宅介護支援事業所 TEL 096(322)7221 /FAX 096(351)6151
3階	法人本部(経営管理部) TEL 096(351)6225 /FAX 096(351)7154



地域包括ケア 杏心の丘
 〒860-0047 熊本市西区春日4丁目18番28号

1階	看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ TEL 096(352)1155 /FAX 096(352)2255 はるかぜ介護福祉ステーション TEL 096(323)5520 /FAX 096(352)2255
2階	デイサービスセンターはるかぜ TEL 096(326)1515 /FAX 096(324)5678
2階 3階 4階	サービス付き高齢者向け住宅 杏心の丘 TEL 096(326)2000 /FAX 096(324)5678
5階	杏心の丘書番館